

[特集]

鹿児島バリアフリー 路上観察隊



鹿児島中央駅正面の送迎用駐車場の車いす使用者用駐車スペースは「判定○」ですが、上村さんの車が駐車していた通路側に自転車が駐輪していました。こうなると、上村さんが一人で車に乗り降りすることができなくなってしまいます。上村さんは一人で車を運転し、介助者なしで車から車いすに乗り移ります。乗り降りするとき、車いすを移動させる約1メートルの幅が必要です。



「車いす使用者用駐車スペース」

「大久保利通
生き立ちの地」

鹿児島中央駅から天文館周辺まで、上村英俊さんと一緒に歩きました。
上村さんの車いすは幅55センチ、長さ75センチ、高さ70センチ、約10キログラム。
上村さんは約五時間の長い街歩きを自力で歩ききりました。
車いすの目線から見た鹿児島バリアフリーの街歩きを



判定○

「ザ・ビエル公園」



判定○

「大久保利通
生き立ちの地」

判定○ 合格です
判定△ 改善してほしいな



かみむら ひでとし
上村 英俊 さん

昭和46年生

鹿児島県車椅子バスケット協会 事務局長
車いすバスケットボール・チーム「薩摩ぼっけもん」メンバー
ホームページ <http://bigmakers.main.jp/bokemon/>

薩摩ぼっけもん

検索





「歩道のグレーチング(溝蓋)」

最近は目の細かいものが多いのですが、古くからある目の大きいタイプのグレーチングは、油断していると、車いすの前輪キャスターがはまつたりして危ないです。



判定△

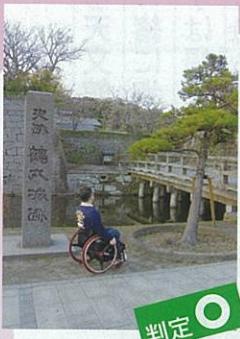
「維新ふるさと館の近くにあつた車いす使用者用駐車スペース」



判定△

駐車スペースを広く設けていますが、周りに壁やポールがあるて、実際には使いにくそう。せつかく車いす使用者用に設けているのに当事者が使えないというのが結構多いです。

「鶴丸城跡」



判定○

「鹿児島市立美術館」



判定○

街のあちらこちらを観察すると、いろんなバリフリーを発見できます。そのマークや設備を頼りに生活している人がいるのだと思うと、マークのこともいろいろ知りたくなります。

鹿児島市営バスの運賃表に
「筆談に応じます」とあつた。

▼聴覚や音声言語機能に障害がある人のために。



横断歩道の視覚障害者用音響付加装置

▼音声案内があると視覚障害者も安心して横断できる。

南／北が「カツコー／カカツコー」、
東／西が「ピヨピヨ／ピヨ」が多い。



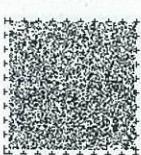
デパートの入り口にあつた呼び出しブザー

▼自分で必要な設備を知るために。
右上はオストメイト対応のマークで、(ほのか)の表示もある。車いす使用者、高齢者、乳幼児連れにも対応している。



補助犬マーク

▼補助犬の同伴を歓迎しますという意味(なぜかペットお断りシールと一緒に貼られていることが多い。)



鹿児島バリアフリー 路上観察隊



判定△



判定○

「天文館」

長歩きにお付き合いいただいた上村英俊さん、竹内直人さん、どうもありがとうございました。

※竹内直人さん
車いすバスケットボール・チーム
「薩摩ほつけもん」のトレーナー



「西郷隆盛銅像そばの
中央公園トイレ」

車いす使用者でも使えるトイレだつたら、うれしかったのですが…。上村さんの場合、バリアフリーでいちばん充実してほしいものは駐車場とトイレだそうです。駐車場とトイレが確保できれば、あとは何とかひとりでも行動できるといいます。



判定△



判定○

路上観察隊マップ

